

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

ゆずりはじょうあと

ゆずりは城跡(楳城跡)

新見市

高総早倉矢井浅里笠
梁社島敷掛原口庄岡
市市町市町市市町市



場所

にいみしかみいち

・新見市上市



時代

むらましだいご

・室町時代頃



指定年月日

・平成15(2003)年
8月2日



所有

にいみし

・新見市



し せき

この史跡について

ゆずりは城を建てた人物・建てられた時期については、資料がないのではっきりとしていませんが、新見氏が建てたと伝えられています。

永禄年間(1558～1570)頃、三村氏に攻められて新見氏は敗走し、三村元範が城主となり城を広げたり、整えると同時に、周りの城や砦も整えました。この城の跡は、標高420～490mで平地との高さの差が約200～240mの南北に延びる尾根の線上に築かれた連郭式の山城で、本丸・二の丸・三の丸からできています。本丸は、このうち最北の標高470～490mの尾根頂部一帯に築かれていて、4つの郭で構成されています。

備中北部では、備中松山城に次ぐ規模を誇っていた城として貴重な史跡です。